

[メディア①]

『IT・IOTを活用したキャンプ場の未来と「アウトドア・イノベーション・サミット」で考える持続可能なアウトドア・レジャー』

田中 篤也 ((株)スペースキー アウトドア事業本部 キャンプ場事業部 部長)

「IT・IOTを活用したキャンプ場の未来」と  
「アウトドア・イノベーション・サミット」で考える  
持続可能なアウトドアレジャー



株式会社スペースキー アウトドア事業本部  
キャンプ場事業部 部長 田中篤也



皆様こんにちは、株式会社スペースキー アウトドア事業本部の田中と申します。  
私からは、会社の紹介も兼ねてのお話になってしまうのですが、IT、IOTを活用したキャンプ場の未来というテーマとアウトドア・イノベーション・サミットで考える持続可能なアウトドアレジャーということについてお話しさせていただきたいと思えます。

CORPORATE PROFILE

商号	株式会社スペースキー	
本社	東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル2号館4階	
リユースセンター	東京都板橋区加賀1-6-1	
代表者	代表取締役社長 佐藤 祐輔	
設立	2007年1月(アウトドア事業:2013年4月開始)	
資本金	8,000,000円	
従業員数	104名(正社員86名 アルバイト18名)	
事業内容	アウトドアサービス(メディア・業務管理システム・3R・広告・IoT・地域活性等)	
各種認定	プライバシーマーク認定(第17001795(3)号), 第三種旅行業(東京都知事登録旅行業 第3-7270号), 有料職業紹介(厚生労働大臣許可番号 13-ユ-308762), 古物商(東京都公安委員会許可 第303311704242号)	
パートナー・加盟団体	環境省「国立公園オフィシャルパートナー」, アウトドア環境保護基金「コンサベーション・アライアンス・ジャパン」, 一般社団法人CSV開発機構, 一般社団法人日本旅行業協会, 一般社団法人日本オートキャンプ協会	

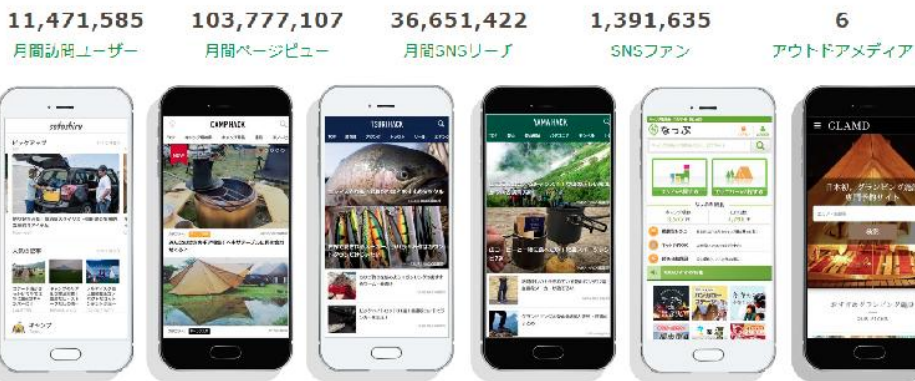
先ず、株式会社スペースキーについてご紹介します。この会社は何をしている会社かといますと、コーポレートスローガンとして「もっと自由なアウトドアを全ての人へ」、そしてビジョンとして「全ての人々がアウトドアレジャーをより長く豊かに楽しめる社会を創る。」と掲げてビジネ

スをしている会社です。われわれは 2007 年に設立したベンチャー企業で、従業員もようやく 100 人を超え、新しいメンバーをどんどん増やしてサービスを拡大している状況にあります。最初に立ち上げたサービスは、ホテルや旅館さん向けの予約システムでした。2013 年には、いまのコアのサービスであるキャンプ場の予約検索サイト『なっぶ』というサービスをはじめて、そこから完全にアウトドアに特化するような形になって、2014 年に『CAMP HACK』、2015 年に『YAMA HACK』、2016 年に『TSURI HACK』と、キャンプ、山、釣りに特化したメディアを展開して、昨年からはこれらに関する中古品の買い取りサービスなどもはじめています。

スペースキー運営メディア

月間1,100万UU / 月間1億PV閲覧される

アウトドア業界最大のWebメディア群を運営しています。



Keep outdoors. for everyone!

これがわれわれの主力のメディアです。会場の皆様の中にもご覧いただいているユーザーさんもいらっしゃるのではないかと思います。いま月間のユニークユーザーが1100万人、月間PVが1億を超えるようなメディア群に成長してまいりました。様々なキャンプや山、もしくは各地域の観光情報等を発信させていただいています。



今日は、私は、『なっぷ』というこちらのサービスの運営を行っている部署にいますので、キャンプに関するお話を進めていきたいと思っています。この『なっぷ』というサービスは、国内のキャンプ場の検索予約サイトとして、年間で約900万人の方々の方々ユーザーさんに訪問いただいています。われわれの認識では、いま全国にあるキャンプ場は3700カ所ぐらいです。『なっぷ』の仕組みについてお話ししますと、大きく2つに分かれます。

なっぷは、  
**日本最大のキャンプ場  
検索・予約サイト**です。





**国内のキャンプ場検索・予約サイトで、  
集客数・掲載数・契約数 << 圧倒的 No.1 !! >>**

年間 **9,000,000** キャンプユーザー来訪  
 年間 **190,000,000** ※ページ閲覧数  
 全国 **3,771** キャンプ場データベース

※2017年・年間数値

媒体名：キャンプ場検索・予約サイト「なっぷ」  
 アドレス：http://nap-camp.com/  
 サイト設立：2013年4月  
 運営会社：株式会社スペースキー

1つは、キャンプ場の予約サイトという形で、圧倒的な集客力というのが大きな特徴です。年間900万人のユーザーさんに対して、各キャンプ場さんの魅力をアピールし、キャンプ場さんへの送客をお手伝いしています。

## 1. 圧倒的集客力

**新規集客**  
お客様が増える

年間約**900万人**のキャンプユーザーが集まる国内最大級のキャンプ場予約サイト「なっぶ」が提供する送客サービス

新規顧客が集まる「なっぶ」で販売機会を最大化！

オススメ施設を Recommend

## 2. 煩雑な予約業務からの開放

**予約管理**  
劇的な業務改善

**なっぶ・公式HPネット予約・電話予約**が一括管理できる業界唯一の予約システムを提供。煩雑な予約受付・管理業務が大幅改善されます。

キャンプ場管理人の「この機能が欲しかった！」を形にした機能が満載！

- Web予約台帳
- 場内マップ割付
- レンタル品販売・管理機能
- 電話予約登録機能
- 売上分析・集計

もう1つは、予約管理システムによって煩雑な予約業務を効率化できますよということです。キャンプ場にとっては、集客はもちろんのこと、業務管理の効率化が必要になってきます。例えば、予約の管理において、多くのキャンプ場さんは今でもノートで管理をされていると思いますが、それをウェブの予約台帳を入れて管理することができます。また、場内マップの割り付け機能を使うことができますので、ご予約いただいたお客様をどのキャンプサイトに配置するかなど、毎日のようにやらなければならない作業が簡単にできる、キャンプ場さんのかゆいところに手が届くようなサービスになっています。

**550**を超えるキャンプ場でサービスが利用されています。



現在、550カ所を超えるキャンプ場さんで実際にご利用いただいています。これは、関西の某キャンプ場様でご利用いただいている一つの導入事例です。

お客様の声 ② ( 兵庫の某キャンプ場様 様 )

なっぷを導入して② 兵庫の某キャンプ場様

**こんなに損していたと思うとぞっとします…。**  
24時間ネット販売するだけで、前年比140%達成！  
平日稼動も向上しました！！



キャンプ場予約担当者

導入前の課題

電話での受付対応のため、営業時間内しか予約が入らず、人きな機会損失を生んでいた。

キャンセルの際は自分でキャンセル処理をして、新しい予約を手動で入れるという煩雑な業務の存在

導入効果

導入後、夜間の予約の割合が急増、これまで空きの多かった9月の平日もコテージはほぼ満室に！！

キャンセル発生後も、なっぷ・自社HPで自動で再販でき、予約機会が最大化！！



今まで電話予約が中心であったのですが、『なっぷ』を使ってネットで販売することにより、結果的に昨年対比で 140%の売上げにつながりました。電話での予約ですと、どうしても日中の時間帯しか受付ができないのですが、これをしっかりネットで受付することによって、結果的に予約数が大幅に向上しました。この事例は非常にわかりやすいパターンかなと思います。

ちなみに、『なっぷ』のユーザーにつきまして、これはわれわれのサービスをご利用いただいているキャンパーさんのデータとしてお話ししますと、年齢層では 35 歳から 45 歳でお子様をお持ちのファミリー層がコアになっています。また、世帯年収でいうと 600 万円以上の世帯の方が非常に多く、住宅でいうと 62%が一戸建ての持ち家、そして車の所有率は 96%という状況になっています。



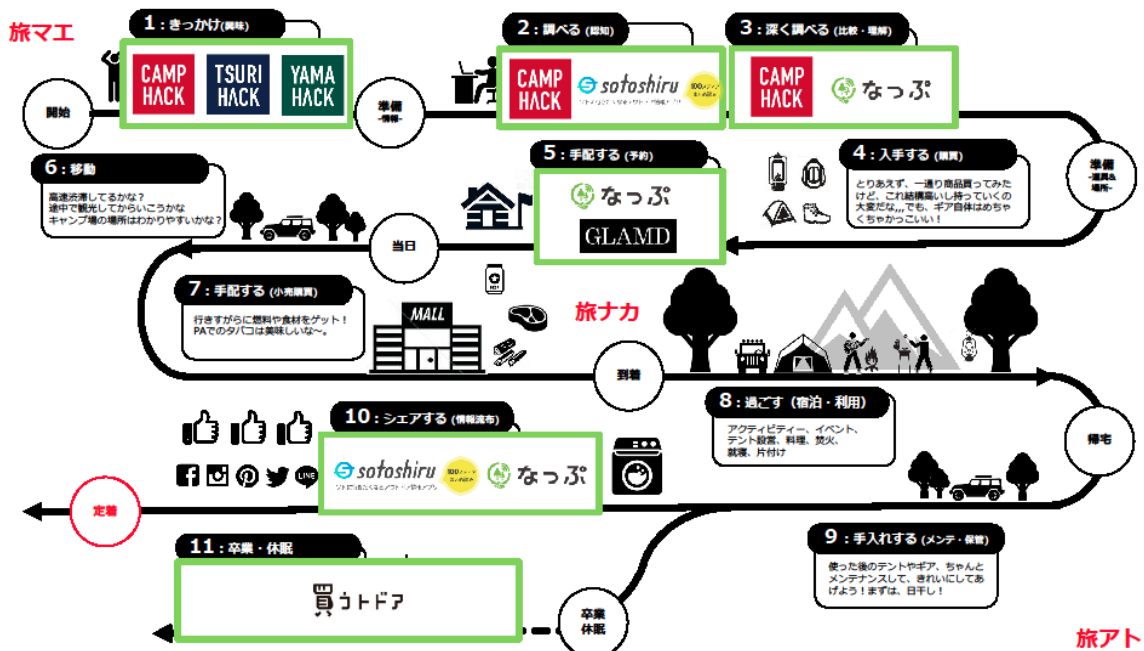
本日の色々なご報告の中で相当出てきていますように、森林をそのままの姿で活用されている

キャンプ場さんは非常に多いです。そのようなキャンプ場は、最近人気が高まってきています。



自然のフィールドを存分に活用した  
アクティビティ、ネイチャーツアー  
森林環境教育、企業研修、イベント

森林とキャンプ場から広がる可能性ということから見ると、本日のお話の中でも出てきていますように、トレイルランニングですとかマウンテンバイクアクティビティ、企業研修といったような用途も、キャンプ場及び森林から派生した新しいキャッシュポイント、ビジネスになるのかなと思います。



ここからは、われわれスペースキーが、いまインターネットによって支援できている領域と、新たなキャンプ場様の活用などといった展望もかねてお話をします。このマップは、いわゆるカスタマージャーニーマップを、キャンプ場のシーンに置き換えて作成したものです。エンドユーザーさんがキャンプをしようと思ってからや卒業、もしくは休眠するまでを図解しています。きっかけがあって、キャンプについて色々調べてみて、道具を入手する、実際キャンプ場を予約する、

実際移動してキャンプ場で過ごす、道具のメンテナンスをする、楽しかったということをシェアする。そしてやがて卒業、休眠してしまう。こういうパターンになったときに、旅マエ、旅ナカ、旅アトといった表現をよくされますが、現時点でわれわれが展開する各ウェブメディアで、こういったキャンプシーンにおいてご支援ができている領域としてはこの辺（旅マエ・旅アト）かなと思っています。きっかけとして、各 HACK メディアを活用してより深く調べていただくための情報を提供する。そこから実際手配するというステージでは、われわれの『なっぷ』を使って予約を取っていただくということになります。実際、その中の旅ナカの部分は、各キャンプ場様にお任せしている状況になるかとは思いますが、その後、帰ってきてから楽しかった思い出をシェアするところでは、『なっぷ』で口コミを書いてもらったり、『ソトシル』というアプリに写真を投稿してもらったりということがあります。残念ながらキャンプを卒業しようという方、もしくは新しい道具を買い換えたいという方は『買うトドア』というアウトドア用品買取サービスを使っていただくといったことになります。われわれは現在、このようなサービスを展開しています。旅ナカの部分では、実際、これまでわれわれとして、インターネットというアプローチではなかなかご支援ができていなかったのですが、ここから先については IOT を活用したサービスを構築し、キャンプ場様のご支援をしていきたいと思っています。



#### CONTRIBUTION FOR OUTDOOR (SUMMIT)

国内最大のキャンプ場向け専門カンファレンスを2016年より開催しております。主催：株式会社スペースキ

##### 『Camp Innovation Summit』

未来へのイノベーションを提案するキャンプ場のためのカンファレンス。全国からキャンプ場関係者が参加し、当社のキャンプ場検索・予約サイト「なっぷ」から読み解くキャンプ場トレンドのご紹介や、課題解決ワークショップを実施しました。



Keep outdoor, for everyone!

©2018 Space Key Inc. All rights reserved. 本資料はSpace Key Inc.の登録商標です。2018年12月現在のものであります。©株式会社スペースキー

ここからは、「アウトドア・イノベーション・サミットで考える持続可能なアウトドアレジャーのテーマ」についてお話しします。われわれは2016年から、キャンプ場様をお招きした「キャンプ・イノベーション・サミット」という形で、色々な課題解決型のワークショップの実施や、キャンプ場様のトレンドについてお話しする場を設けています。また、2017年からは、「アウトドア・イノベーション・サミット」という形で、アウトドア業界の様々なリーダーに集まっていたいて、アウトドアを活用した地域の活性化であるとか、アウトドアが抱える課題などを共有する場を主催させていただいています。

昨年、2018年12月には、その規模を大きくして、国際フォーラムで第2回目のサミットを実施しました。当日の様子を3分間にまとめた動画がありますので、それをご覧ください。

## <動画上映>

ご覧いただいたようなイベントを開催しました。このサミットのコンセプトは、動画の中にもありましたように、「アウトドア人口の増加」と「地域振興」及び「環境保全」です。この3つの軸をしっかりと、トリプルボトムアップして行って、持続可能性を意識したアウトドアレジャーを推進していきたいということで開催しています。

### ● 持続可能な森林×アウトドアレジャー

## ・ 近年増加傾向にある森林を活用した レジャーアクティビティの活用

例) トレイルランニング、サバイバルゲーム、マウンテンバイク  
(場所における管理・許認可権限問題においては官民連携が必要)



Let's enjoy outdoor, for everyone!  
©2019 株式会社エス・エス・エス。本資料は株式会社エス・エス・エスの登録商標です。本資料の中心には株式会社エス・エス・エスの登録商標が記載されています。©株式会社エス・エス・エス

持続可能な森林×アウトドアレジャーという点でいいますと、今日のお話にもたくさん出てきているように、トレイルランニングであるとか、マウンテンバイク、最近ではサバイバルゲームなども人気になってきているというところで、森林を活用したレジャー、アクティビティを体験できる場をもっともっと増やしていければいいなと思っています。また、場所における管理、許認可、権限等、色々課題もあるといったお話もよく聞きますが、こういったところについては、官民の連携というのが必須になってくるのかなと思っています。是非「アウトドア・イノベーション・サミット」のような場を通じて、官民連携を促進していければと思っています。



・ 森林環境譲与税の活用  
設備投資、リノベーション、ネイチャーツアーの企画

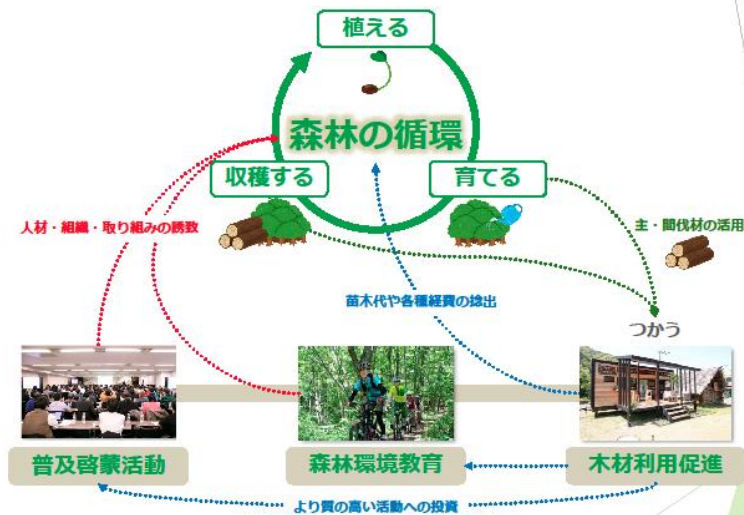
キャンプ場内の建造物への木材利用や森林環境教育等の使途



Keep outdoor, for everyone!

※この内容は国が定める可能な限り最新の資料に基づきます。本資料中の「この資料の発行日」は2023年12月現在となります。©株式会社スリースター

あとは、今日何回も出てきています森林環境譲与税の活用というところでは、キャンプ場においても、新しい設備投資やリノベーションしたいという話はよくあると思うので、キャンプ場内のコテージなどの建造物や付随するウッドデッキなどは、しっかりと地域、地元で取れた木材を活用して森林環境譲与税の適用がうまく受けられるように働きかけていくことができればいいのかなと思います。



Keep outdoor, for everyone!

※この内容は国が定める可能な限り最新の資料に基づきます。本資料中の「この資料の発行日」は2023年12月現在となります。©株式会社スリースター

また、活用するだけでなく、環境をしっかりと循環させるモデルも必要ですので、植えて、育てて、収穫する、いったこともしっかりと取り入れていけたらいいのではないかと考えています。木を植えるとか、森を育てることを通じて、幼少期から森や自然にふれあう、という環境教育は意義があることだと思います。単に活用するだけでなく、次の世代にもつながるよう循環させるモデルというものも意識していけたらすてきだなと思います。

なっぷ、IoTを活用した効率運営により  
人材不足の解消に寄与

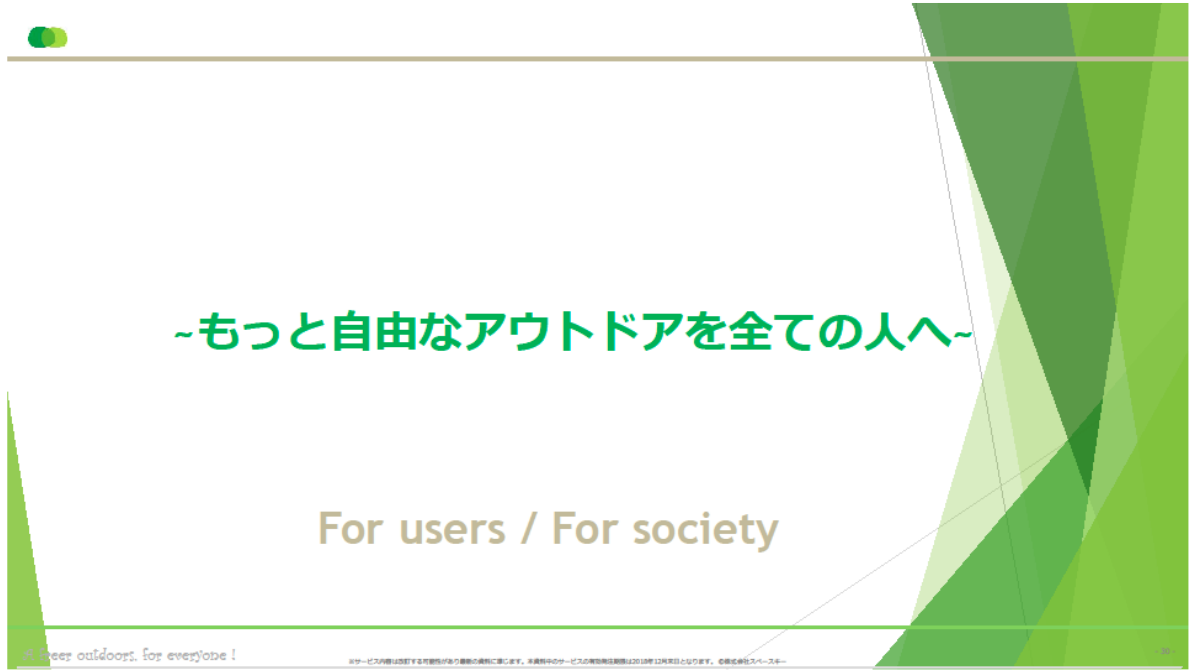
スペースキーのアウトドアメディアによる  
認知向上、集客による売上UP

運営コンサルティング、運営受託のご相談も可能

Keep outdoor, for everyone!

※サービス内容は変更する可能性があります。本資料中のサービス提供開始時期は2023年12月を目処と見込んでいます。©株式会社スペースキー

最後になりますが、こういった自然資源や遊休地活用について、自治体の皆様から各企業様へよくご相談いただくことがあります。内容は、「維持管理コストを削減したい」とか、「もうちょっと効率のいい運営方法はないか」とか、「人がいなくて困っている」、などといったこと、または、「すごく広大な敷地があるのだが、全然認知されてなくて、地域外からは全然人が来てくれない」といったようなことなどです。また、「利用者のニーズと公園の運営方法が一致しない」、「長年特定の指定管理業者さんにお任せしていて、実際の運営方法についてはあまり細かく管理ができていない」、という自治体の声もよく聞きます。われわれとしては『なっぷ』の導入やIoTによってキャンプ場の効率運営ができる部分もありますので、そういったツールや技術をしっかりと活用することで解消していただければと思っています。認知度向上については、われわれの得意領域で、アウトドアメディアの『CAMP HACK』、『YAMA HACK』、『TSURI HACK』を活用した情報発信でお手伝いをさせていただくことができるとしています。また、「利用者のニーズと公園の運営方法が一致しない」という現場における課題については、スペースキーではなくて、今日後ろの方にブースを出させていただいているキャンプ場の運営のプロの会社様と一緒に、運営コンサルや運営受託もできます RECAMP という関連会社もごございますので、こういったところを通じて色々なお手伝いができればと思っています。



ちょっと長くなってしまいましたが、「もっと自由なアウトドアを、全ての人へ」、ということ  
を大事にこれからも頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします。